

# 平成26年度 小千谷市体育部 活動報告

部長 堀川 章

## 1 はじめに

当市では昨年度同様、子どもたちの体力や技能、そして競技力を高めるために、市小学校体育連盟等の事業とタイアップさせながら、教員の指導力の向上並びに授業改善を目的として活動に取り組んでいる。

## 2 活動の実際

### (1) 水泳実技指導者講習会

7月4日(金)に小千谷小学校において、小千谷市教育委員会管理主事兼指導主事の滝沢一博先生から「低・中学年の水泳授業(水遊び、浮く・泳ぐ運動)指導法」について講義並びに実技の指導を受けた。

内容としては、水泳指導全般・各学年部における指導についての「指導の構え」と、「泳法等の指導法」である。

「泳法等の指導法」の主な事項は次のとおり。

- ・バタ足
- ・けのび
- ・クロール
- ・クロールの手の動かし方
- ・平泳ぎの足
- ・飛び込み

内容が理論と実技両面からの講習会であったため、参加者にとっても「どうすれば浮くのか、進むのか理論も一緒に教えていただき分かりやすかった」「バタ足での足の動かし方やクロールでの息継ぎの仕方など、学ぶことがたくさんあった」など、授業や課外活動にすぐ活かせる実のある講習会となった。

### (2) 陸上審判講習会

9月16日(火)に小千谷市白山運動公園陸上競技場において、小千谷市陸上協会会長の星野利朗氏より指導を受けた。

29ページにも及ぶ資料に基づき、「審判員の必要性と心構え」「競技役員の仕事・権限の概要」「競技会の進行にあたって」について、数多くの経験と現状に基づき、細部にわたり丁寧に話をしていただいた。中には、選手指導にも役立つ事柄も多くあり、とても参考になった。

### (3) スキー指導者実技講習会

1月20日(火)に小千谷市白山運動公園クロスカントリースキーコースにおいて、講師2人を招いて講習会を実施する予定である。

内容としては、昨年出された次年度への要望「手と足が同時に出てしまう子への指導」「坂道を滑り下りるときの指導のコツ」等を踏まえて、授業並びに課外指導に役立つ指導法について実技を中心とした講習会を予定している。

### (4) その他

新潟県小学校体育連盟代議員会で報告された各地区の取組を伝達講習した。各校では、自校の実態を踏まえながら、よりよい体育授業並びにより効果的な課外活動を目指して日々取り組んだ。

## 3 おわりに

子どもにあった授業や課外指導を実践していくには、まず教師(指導者)が指導する種目に対しての知識と技能を持ち合わせていなければならない。そして、目の前の子ども一人一人の実態に応じた指導をしていくことが、子ども一人一人の確かな成長をはぐくむこととなる。そのためにも、このような実技に基づいた研修はとても有効である。

また、当市は一昨年度、市内小学校の統廃合により、学校数が8校と減少した。このような現状の中であるため、今後も関係機関との連携を密にして活動を進めていくことが重要であると考えている。